

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)
コンセント ボックス (中空壁)
工法一覧
ケーブル
PF/CD管
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)
CD管 埋設工法
共用区画
コンセント ボックス (中空壁)
工法一覧
ケーブル のみ
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)
異種管継手
遮音シート
コンセントボックス SW用キット (片壁用)
丸穴貫通 (床用)キット
プロセレクトキャビネット
工法一覧
ケーブル ラック
バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A



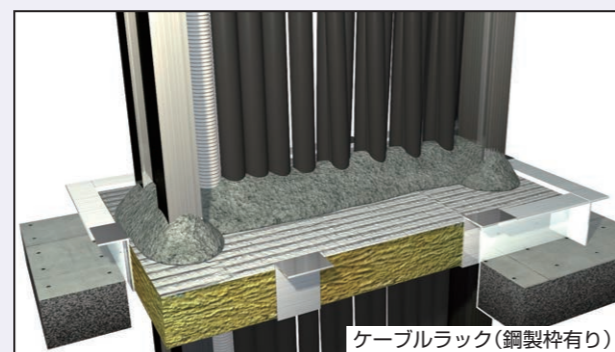
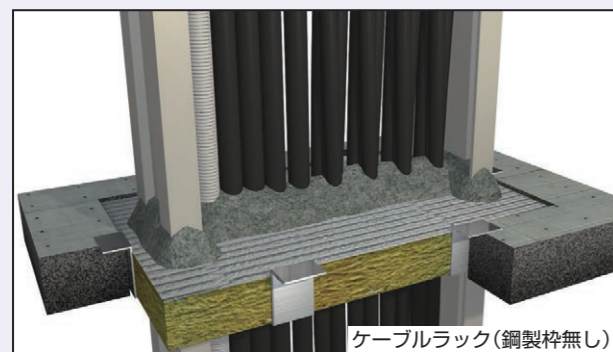
国土交通省大臣認定 (建築基準法関連)

	RC/ALC 壁	中空壁	片壁	RC床
ケーブルラック				
	PS060WL-0514 P.52~53	PS060WL-0514 P.52~53	PS060WL-0530-2 P.52~53	PS060FL-0808* P.52~54

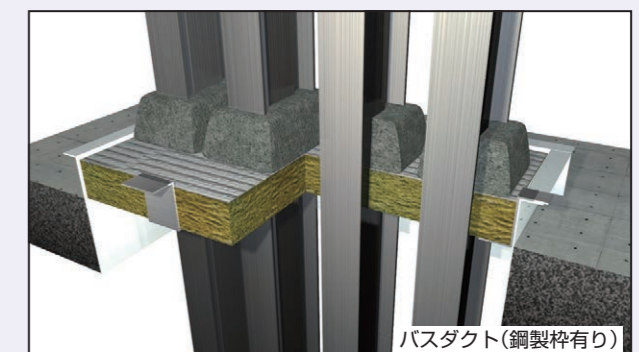
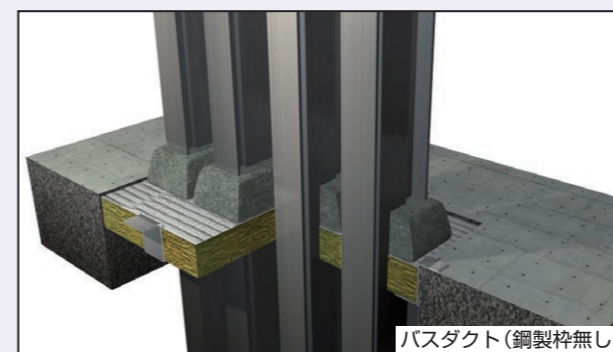
\*PS060FL-0808の内容はPS060FL-0513を包含しています。

	RC/ALC 壁	中空壁	片壁	RC床
バスダクト				
	PS060WL-0789 P.52	PS060WL-0789 P.52	PS060WL-0788-2 P.52	PS060FL-0667 P.52~54

ケーブルラック貫通 (床)



バスダクト貫通 (床)



製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)
コンセント ボックス (中空壁)
工法一覧
ケーブル
PF/CD管
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)
CD管 埋設工法
共用区画
コンセント ボックス (中空壁)
工法一覧
ケーブル のみ
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)
異種管継手
遮音シート
コンセントボックス SW用キット (片壁用)
丸穴貫通 (床用)キット
プロセレクトキャビネット
工法一覧
ケーブル ラック
バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

# ケーブル区画貫通措置部材

## ケーブルラック・バスダクト貫通用プロセレクト

国土交通大臣認定品  
PS060FL-0808、PS060WL-0514、PS060WL-0530-2  
PS060FL-0667、PS060WL-0788-2、PS060WL-0789

セキスイ熱膨張耐火材  
**ファイブロック**



### 軽量ボードと柔軟パテを用いた 電動工具不要の簡単、確実な施工を実現します。

- 壁・床どちらにも使える仕様です。
- 開口サイズ毎のキット品は、前準備も簡単ですぐ作業にとりかかれます。
- 追加配線が簡単に出来ます。
- リフラクトリーセラミックファイバー(RCF)は含まれておりません。

#### 製品仕様(キット品)

品名	品番	開口サイズ(mm)	プロセレクトボード(枚)	支持金具(個)	プロセレクトパテ(600g/袋)
200×300用キット	RY-006	200×300	1	8	1
200×400用キット	RY-008	200×400	1	8	2
200×500用キット	RY-010	200×500	1	8	2
200×600用キット	RY-012	200×600	1	8	2
200×700用キット	RY-014	200×700	1	10	3
200×800用キット	RY-016	200×800	1	10	3
200×900用キット	RY-018	200×900	1	10	3
200×1000用キット	RY-020	200×1000	1	10	4
200×1100用キット	RY-022	200×1100	1	10	4
200×1200用キット	RY-024	200×1200	1	10	4

#### 製品仕様(プロセレクトパテ単品)

品名	品番	サイズ・入り数
プロセレクトパテ 1キロ	NCJM004	1kg/袋(10袋/ケース)

※追加配線、補修用としてご使用いただけます。

#### 評価済み関連項目

試験項目	試験規格	測定条件
遮音性	JIS A 1416	音響透過損失[dB] (100~5000Hz)
耐風性	JIS A 1515	負圧9000Pa~正圧2000Pa
気密性	JIS A 1516	通気量(20~200Pa)

※試験場所:(一財)建材試験センター

※その他使用材料:シリコーン系または変成シリコーン系シーリング材(JIS A 5758)  
推奨品:積水フーラー製 セキスイシリコーンシーラント

#### 適用範囲

##### ケーブルラック貫通

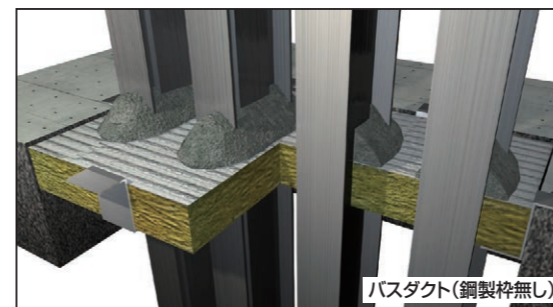
貫通部位		壁	床
国土交通大臣認定番号		PS060 WL -0530-2	PS060 WL -0514 PS060 FL -0808
開口部	寸法	0.6㎡以下	
	形状	矩形	
壁または床の仕様 (国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床)		強化せつこうボード 2枚張りの壁(片壁) 厚 42mm以上	ALC壁 コンクリート壁 中空壁 厚 100mm以上
ケーブルラック	材料	①一般構造用圧延鋼材(JISG 3101) ②溶解亜鉛めっき鋼板(JISG 3302)	
	厚さ	1.6mm以上	
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	325mm²以下(1本あたり)	
	規格	20,297mm²以下(総合計)	
鋼製電線管	規格	JIS C 8305	
	サイズ	呼び径 75(外径 76.2mm)以下 長さ 300mm以上	
合成樹脂製 可とう電線管(JIS C 8411)		PF管:呼び径 36(外径 45.5mm)以下 CD管:呼び径 42(外径 48.0mm)以下	
占積率*		20.8%以下	
鋼製枠		有り又は無し (有りの場合)床厚さ以上	

\*開口面積に対するケーブル・電線管の断面積の総合計の割合

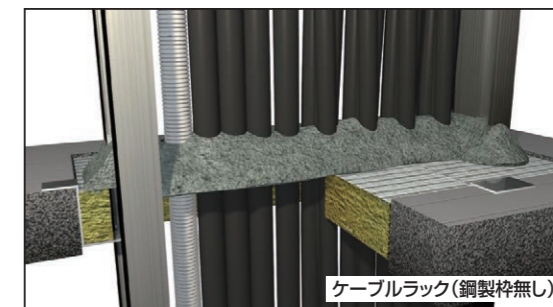
##### バスダクト貫通

貫通部位		壁	床
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0788-2	PS060WL-0789 PS060 FL -0667
開口部	寸法	0.6㎡以下	
	形状	矩形	
壁または床の仕様 (国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床)		強化せつこうボード 2枚張りの壁(片壁) 厚 42mm以上	ALC壁 コンクリート壁 中空壁 厚 100mm以上
バスダクト	導体断面積	2,400mm²以下(1本あたり)	
	規格	59,700mm²以下(総合計)	
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	150mm²以下(1本あたり)	
	規格	1,103mm²以下(総合計)	
鋼製電線管	規格	JIS C 8305	
	サイズ	呼び径 75(外径 76.2mm)以下 長さ 250mm以上	
合成樹脂製 可とう電線管(JIS C 8411)		PF管:呼び径 36(外径 45.5mm)以下 CD管:呼び径 42(外径 48.0mm)以下	
占積率*		23.3%以下	
鋼製枠		有り又は無し (有りの場合)露出部分50mm以下	

\*開口面積に対するバスダクト・ケーブル・電線管の断面積の総合計の割合



バスダクト(鋼製枠無し)

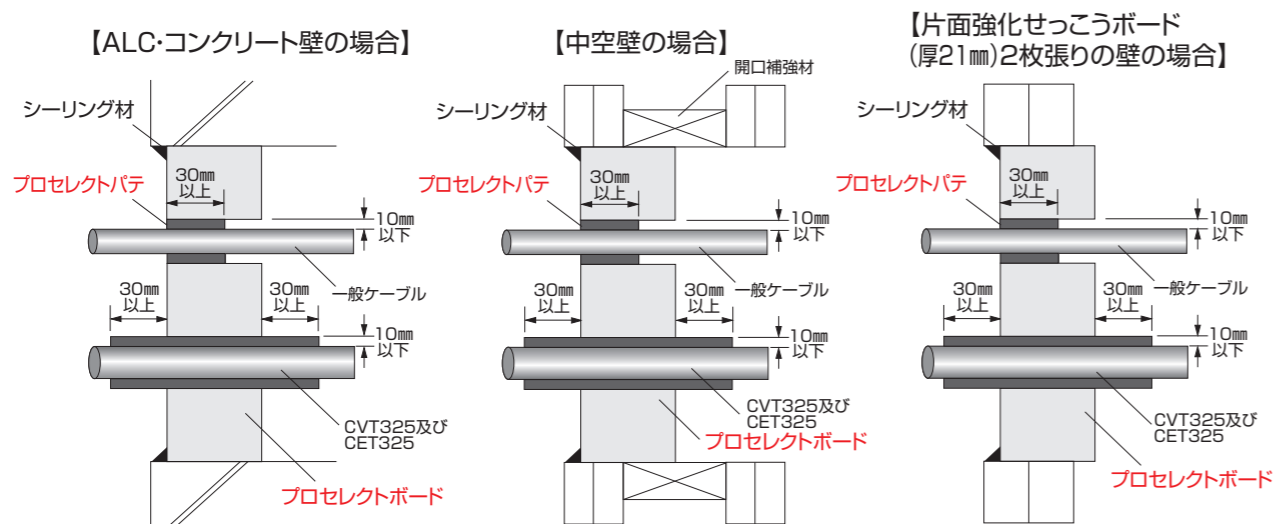


ケーブルラック(鋼製枠無し)

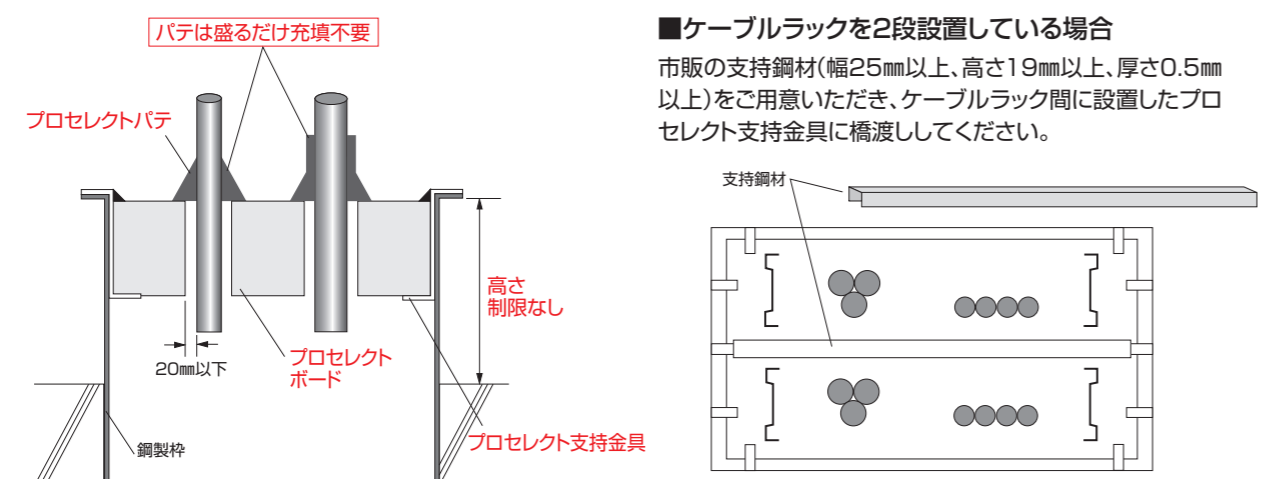
製品一覧	NEO
工法選定早見表 製品別	
工法選定早見表 施工箇所別	
工法一覧	
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)	NEO
コンセント ボックス (中空壁)	
工法一覧	
ケーブル	
PF/CD管	PF管 ケーブル PF/CD管 シート
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)	
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)	
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)	
CD管 埋設工法	共住区画
コンセント ボックス (中空壁)	
工法一覧	
ケーブル のみ	
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)	
異種管継手	
遮音 シート	
コンセント ボックス (耐火遮音)	
コンセントボックス SW用キット (片壁用)	
丸穴貫通 (床用)キット	
工法一覧	
ケーブル ラック	ファイブロック ケーブル ラック
バスダクト	
延焼防止シート	
関連法規	
Q&A	

製品一覧	NEO
工法選定早見表 製品別	
工法選定早見表 施工箇所別	
工法一覧	
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)	NEO
コンセント ボックス (中空壁)	
工法一覧	
ケーブル	
PF/CD管	PF管 ケーブル PF/CD管 シート
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)	
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)	
CD管 埋設工法	共住区画
コンセント ボックス (中空壁)	
工法一覧	
ケーブル のみ	
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)	
異種管継手	
遮音 シート	
コンセント ボックス (耐火遮音)	
コンセントボックス SW用キット (片壁用)	
丸穴貫通 (床用)キット	
工法一覧	
ケーブル ラック	ファイブロック ケーブル ラック
バスダクト	
延焼防止シート	
関連法規	
Q&A	

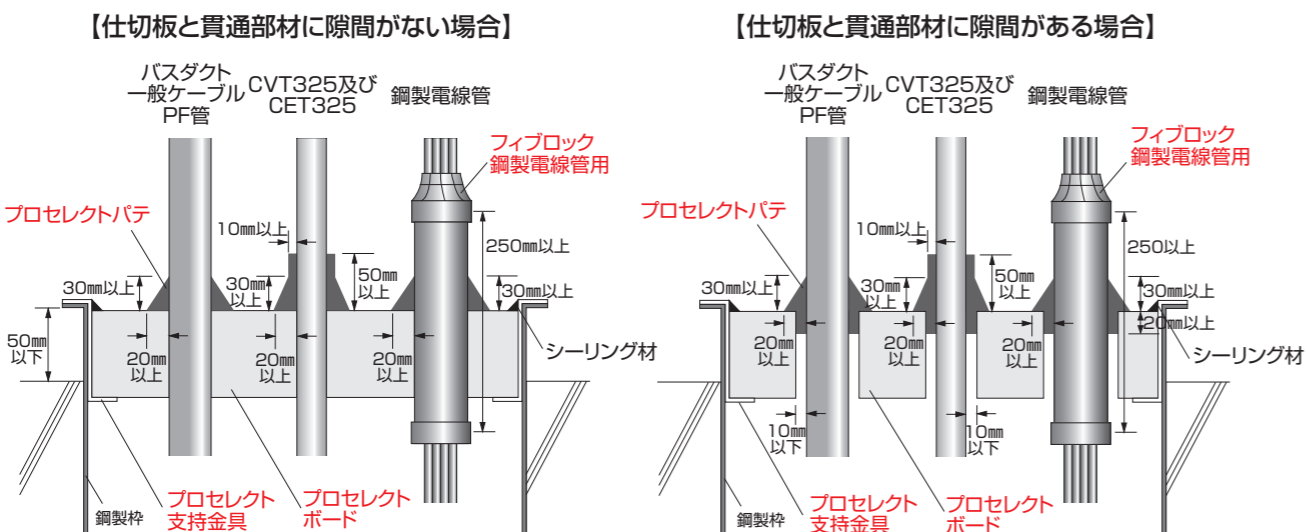
ケーブルラック壁の標準施工図 PS060WL-0514,0530-2



ケーブルラック床の標準施工図 PS060FL-0808

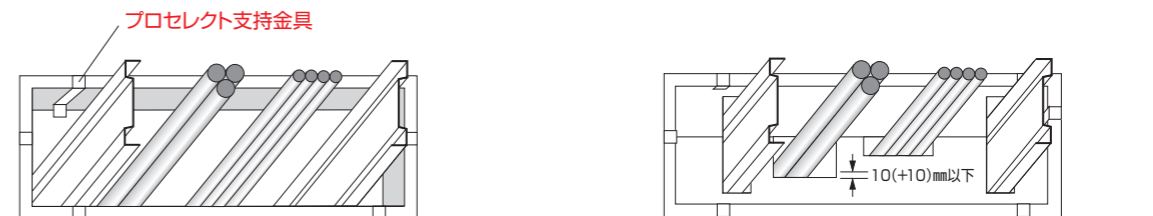


バスダクト床の標準施工図 PS060FL-0667

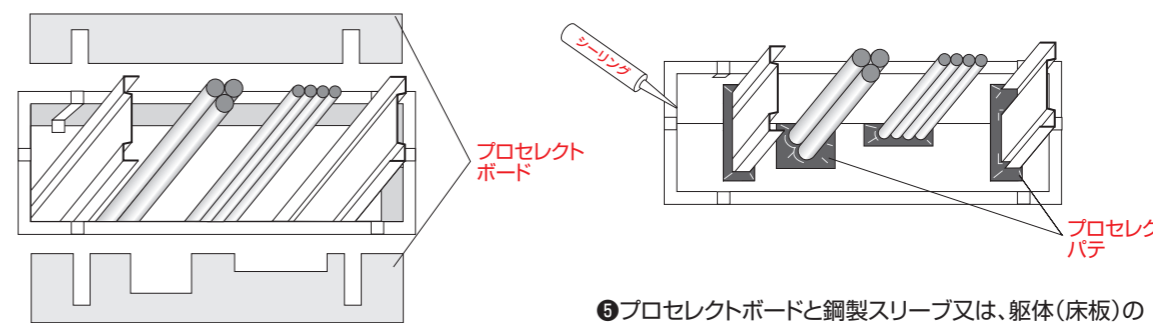


ケーブルラック標準施工方法(床の場合) PS060FL-0808

- ①支持金具を必要に応じて接着剤、両面テープあるいはビスにて開口部に設置します。支持金具は1辺につき1個以上設置します。
- ②手順2で加工されたプロセレクトボードを開口部に設置します。その時、支持金具にあたるまでプロセレクトボードを押し込みます。



- ③ケーブルとプロセレクトボードとの隙間は、プロセレクトパテを用いて密に充填します。その場合、プロセレクトボード上面から盛り上げ高さ30mm以上、プロセレクトボードとのかき代部は10mm以上とします。  
※CVT325mm<sup>2</sup>、CET325mm<sup>2</sup>の場合、50mm以上
- ④ケーブルとプロセレクトボードとの隙間は、プロセレクトパテを用いて密に充填します。その場合、プロセレクトボード上面から盛り上げ高さ30mm以上、プロセレクトボードとのかき代部は10mm以上とします。  
※CVT325mm<sup>2</sup>、CET325mm<sup>2</sup>の場合、50mm以上

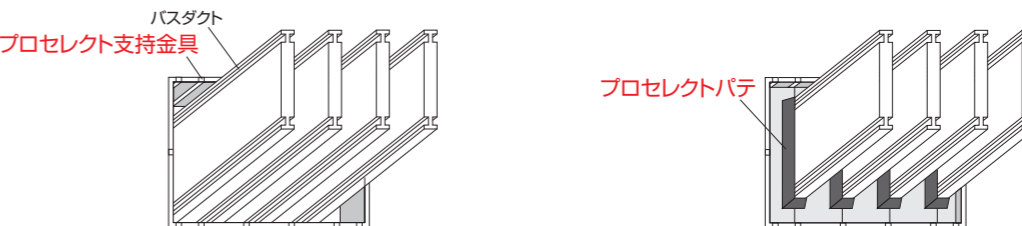


- ⑤プロセレクトボードと鋼製スリーブ又は、躯体(床板)の接触部にシーリング材\*を施工します。

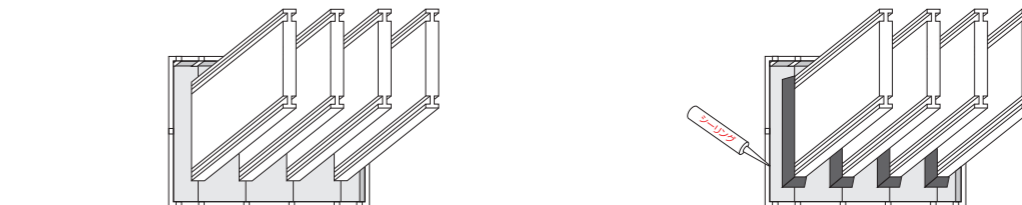
\*子桁、C形鋼の固定方法は認定工法通り施工できるよう、位置に配慮してください。

バスダクト床の標準施工方法(床の場合) PS060FL-0667

- ①プロセレクト支持金具を開口部に設置します。
- ②バスダクトまわりにプロセレクトパテを施工します。



- ③プロセレクトボードを開口部の寸法、バスダクト形状に合わせて切断し、施工します。
- ④開口の四周にシーリング材\*を施工します。



\*シーリング材：シリコン系または変性シリコン系シーリング材(JIS A 5758)  
推奨品：積水フーラー製 セキスイシリコンシーラント